

2年連続全国大会出場

春季全日本小学生ソフトボール大会

習志野スーパーガールズ

習志野市選抜の小学ソフトボールチーム「習志野スーパーガールズ」は、来年3月26日から愛媛県で開かれる「第15回春季全日本小学生女子ソフトボール大会」出場を決めた。

習志野スーパーガールズは市内の小学生ソフトボールチームに所属する選抜選手で構成されている。コロナ禍にあっても練習を積み重ね、昨年に続き、全国大会への出場を勝ち取った。全国大会には各都道府県代表の48チームが参加する。平成28(2016)年に結成されて以来、習志野スーパーガールズの春季全日本大会出場は2年連続4回目。



優勝の五中

千葉県代表を決める「第15回春季全日本小学生ソフトボール大会」第32回関東小学生選抜男女ソフトボール大会千葉県予選会(勝又杯)は11月6日と7日、男女にわかれ、習志野市袖ヶ浦運動公園と西浜公園緑地多目的広場で開催された。大会は千葉県ソフトボール協会が主催。5年生以下の選手が出場した。

習志野スーパーガールズは、投手・西沢が力投を見せ、打線も好調で準決勝戦で松戸JSLホワイトレイズ(松戸市)に11-1で快勝。決勝戦では前回大会に続いてミルクイエングェル



2年連続4回目の春季全日本大会出場を決めた習志野スーパーガールズ

島の代走・池上を返し一挙3点。さらに3番田中は内野安打と連続盗塁。4番大橋の中越二塁打で1点を加え、この回4点先取。4回表には、相手エラー、7番中村の中前安打などで2点を追加。5回表にも2番西沢の内野安打、5番加藤の中越三塁打、6番高久の中前適時打でさらに2点を加えて8-0。投手・西沢は最終5回までに2四球はあったものの、無安打、12三振のノーヒットノーランで勝利した。

▽決勝戦

習志野スーパーガールズ	00422	8
ミルクイエングェルス	00000	0

五中が攻守に勝利V

中学ソフトボール秋季大会

中学校ソフトボールの習志野市秋季大会が10月24日と30日、第七中学校で開かれた。

予選リーグと決勝トーナメント戦が行われ、五中が優勝を飾った。大会は令和3年度習志野市中学校新人体育大会の代替大会として催された。

決勝戦はともに予選リーグ1位の五中と七中との対戦となった。先制したのは五中。五中は1回裏、四球の1番押尾が盗塁。3番石橋が中前安打と盗塁で一

死走者二、三塁とし、4番佐藤の左前安打で押尾がかえる。七中の得点機は3回表。一死から8番D.P.の菅野が内野ゴロエラーで出塁。二死となるが、1番丸野の右前安打は長打となり、走者一、三塁とし、2番小林の内野安打で菅野がかえり、同点とする。

しかし、3回裏の五中は四球の押尾が盗塁と捕逸で三塁へ進む。続く2番足田も四球と盗塁で無死走者二、三塁とし、石橋は内野ゴロだが、押尾がかえり、エラーで無死走者一、三塁の場面、佐藤の打席に、石橋が盗塁で走者二、三塁とし、捕逸で足田がかえり、さらに打球がそれる間に石橋もかえり3点目。佐藤は内野安打で出塁し、5番今枝は三遊間安打で無死走者一、三塁。7番田井の遊左間の安打で佐藤と今枝が相次いでかえり、この一回一挙5点を得る。

▽予選Aリーグ

五中	10-0	一中
一中	4-3	三中
五中	6-0	三中

▽予選Bリーグ

七中	16-0	六中
二中	15-0	六中

▽決勝戦

五中	00100	一中
七中	1053X	二中

「少年野球写真展」

モリシア津田沼で開催中
球児たちの活躍を紹介



3日間にわたり、熱戦が繰り広げられた。モリシア津田沼1階センターコート隣のキッズスペース「コードモパーク」では、懸命にプレーした球児たちや仲間を応援する姿などが700枚以上の写真で紹介されている。



少年野球写真展の様子